

平成26年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年7月10日

上場会社名 株式会社サダマツ 上場取引所 東
 コード番号 2736 URL http://www.sadamatsu.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 貞松 隆弥
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営戦略室長 (氏名) 磯野 紘一 TEL 03 (5768) 9957
 四半期報告書提出予定日 平成26年7月11日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年8月期第3四半期の連結業績（平成25年9月1日～平成26年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年8月期第3四半期	6,145	6.7	132	—	109	—	36	—
25年8月期第3四半期	5,759	1.3	△5	—	△19	—	△54	—

(注) 包括利益 26年8月期第3四半期 45百万円 (—%) 25年8月期第3四半期 △11百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年8月期第3四半期	3.22	3.16
25年8月期第3四半期	△4.91	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年8月期第3四半期	6,125	1,451	23.4
25年8月期	5,758	1,423	24.5

(参考) 自己資本 26年8月期第3四半期 1,434百万円 25年8月期 1,412百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年8月期	—	0.00	—	2.00	2.00
26年8月期	—	0.00	—	—	—
26年8月期（予想）	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成26年8月期の連結業績予想（平成25年9月1日～平成26年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,150	3.2	170	30.2	140	32.3	25	148.1	2.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年8月期3Q	11,387,000株	25年8月期	11,387,000株
② 期末自己株式数	26年8月期3Q	135,819株	25年8月期	135,284株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年8月期3Q	11,251,406株	25年8月期3Q	11,138,348株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 p. 2 「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成25年9月1日～平成26年5月31日）におけるわが国経済は、政府による経済政策や日銀の金融緩和策の効果により、企業収益の改善や個人消費に持ち直しの動きがみられるなど、緩やかな回復基調で推移したものの、新興国景気の減速といった海外経済の下振れ懸念もあり、景気の先行きは依然として不透明な状況となりました。

流通業界におきましては、消費税率引き上げに伴う需要悪化が懸念されたものの、外国人観光客による消費拡大がプラス要因となるなど地域や業種によって影響度は限定的となりました。一方、原油価格の高騰や電気料金等の値上げに加え、人材不足による労務費上昇などのコスト増が懸念材料となるなど引き続き予断を許さない事業環境となりました。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間における当社グループは、成長軌道の確立に向けた重点施策として「ブランド力の向上」、「販売力の強化」、「SPA体制の構築」に取り組んでまいりました。

「ブランド力の向上」につきましては、当社の主力商品となる特別なカットにより大小2つの星が映し出されるダイヤモンド“Wish upon a star”を基軸とした精神価値訴求型のプロモーション活動を実施しました。その結果、「美し過ぎる銅版画家」で知られるアーティスト・小松美羽さんと“Wish upon a star”とのコラボレーションによって生み出された作品が縁結びの神様で有名な出雲大社に奉納され、「出雲大社に輝く初めてダイヤモンド」として歴史的な注目を集めるなど、大きな支持を得ることができました。

「販売力の強化」につきましては、“Wish upon a star”を中心としたプライダル関連商品の販売拡大に努めるとともに、消費税率引き上げ後は需要喚起を目的とした催事への取り組みを強化するなど外部環境に応じた販売施策を推進しました。

「SPA体制の構築」につきましては、正確かつ効率的な受注・発注体制の再整備を行い、SPA体制の基盤となるベトナム子会社との連携を強化しました。さらに、売上機会の損失や欠品率の低減を図るとともに、品質管理や工程管理の安定性を確保することで、更なる品質の向上と供給体制の効率化を進めました。

このような取り組みの結果、“Wish upon a star”の売上は前年同期に比べ336.9%増と大幅な伸びを記録し、それに伴いプライダル関連商品の売上も24.5%増となったことが要因となり、売上高は前年同期比6.7%増となりました。

売上総利益に関しては、“Wish upon a star”シリーズの売上構成比が16.8%まで拡大するなど高付加価値商品の販売が堅調だったことに加え、ベトナム子会社の有効活用により同社製品の売上高構成比が36.5%まで上昇し、全体的な商品原価の低減が実現したため、前年同期比12.1%増と大幅に増加しました。

販売費及び一般管理費に関しては、各種プロモーションやイベント催事を中心とした販促強化策の推進に加え、新規出店に伴う出店費用や維持管理費用、さらに販売スタッフの補強や将来成長に備えた人材育成のために要した費用等が影響し、前年同期比8.2%増となりました。

海外小売部門である在台湾子会社の台湾貞松股份有限公司（日本名：台湾貞松株）に関しては、引き続きグループマネジメント体制の強化によりブランド認知度が向上し、店舗収益が大きく改善しました。海外生産部門である在ベトナム子会社のD&Q JEWELLERY Co., Ltd.（日本名：ディーアンドキュー ジュエリー）に関しては、SPA体制の構築に対応するため、製造機能の向上によるグループ全体の合理化・効率化を図りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高6,145百万円（前年同四半期比6.7%増）、営業利益132百万円（前年同四半期営業損失5百万円）、経常利益109百万円（前年同四半期経常損失19百万円）、四半期純利益36百万円（前年同四半期純損失54百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は6,125百万円となり、前連結会計年度末に比べ366百万円増加いたしました。その要因は主に、商品及び製品が213百万円、原材料が69百万円、有形固定資産が36百万円、差入保証金が14百万円増加したものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は4,673百万円となり、前連結会計年度末に比べ339百万円増加いたしました。その要因は主に、支払手形及び買掛金が320百万円、社債が50百万円減少したものの、借入金の総額が485百万円、未払金及び未払費用が128百万円、未払法人税等が28百万円、退職給付引当金が15百万円増加したものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は1,451百万円となり、前連結会計年度末に比べ27百万円増加いたしました。その要因は主に、四半期純利益36百万円の計上、配当金の支払22百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は23.4%となり、前連結会計年度末に比べ1.1ポイント減少いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年8月期の通期業績予想については、平成25年10月11日付「平成25年8月期決算短信」にて発表した内容に変更ありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	728,889	738,499
受取手形及び売掛金	598,635	580,936
商品及び製品	2,743,835	2,957,644
原材料	414,384	483,873
繰延税金資産	18,587	22,661
その他	108,055	136,182
貸倒引当金	△1,199	△1,233
流動資産合計	4,611,187	4,918,564
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	403,082	454,082
減価償却累計額	△202,333	△236,846
減損損失累計額	△9,010	△4,036
建物及び構築物(純額)	191,738	213,199
機械装置及び運搬具	56,745	59,357
減価償却累計額	△41,627	△46,978
機械装置及び運搬具(純額)	15,117	12,379
工具、器具及び備品	180,973	205,223
減価償却累計額	△115,456	△133,990
減損損失累計額	△904	△904
工具、器具及び備品(純額)	64,612	70,328
土地	90,478	90,478
リース資産	123,654	156,378
減価償却累計額	△48,851	△69,540
リース資産(純額)	74,802	86,838
有形固定資産合計	436,750	473,224
無形固定資産	14,039	14,399
投資その他の資産		
投資有価証券	97,619	97,764
繰延税金資産	55,357	60,139
差入保証金	439,374	453,721
その他	102,587	107,715
貸倒引当金	△6,076	△6,279
投資その他の資産合計	688,862	713,061
固定資産合計	1,139,652	1,200,685
繰延資産	7,526	5,833
資産合計	5,758,366	6,125,083

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	772,674	452,258
短期借入金	1,780,906	2,158,808
1年内償還予定の社債	100,000	100,000
未払金及び未払費用	450,946	579,456
未払法人税等	20,673	49,440
賞与引当金	21,961	17,295
その他	188,721	226,060
流動負債合計	3,335,884	3,583,318
固定負債		
社債	250,000	200,000
長期借入金	443,521	550,658
退職給付引当金	152,378	167,737
その他	152,672	172,135
固定負債合計	998,571	1,090,530
負債合計	4,334,456	4,673,849
純資産の部		
株主資本		
資本金	743,392	743,392
資本剰余金	550,701	550,701
利益剰余金	155,658	169,384
自己株式	△12,674	△12,746
株主資本合計	1,437,077	1,450,730
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	83	228
為替換算調整勘定	△24,921	△16,051
その他の包括利益累計額合計	△24,838	△15,823
新株予約権	11,671	16,326
純資産合計	1,423,910	1,451,233
負債純資産合計	5,758,366	6,125,083

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年9月1日 至平成26年5月31日)
売上高	5,759,542	6,145,804
売上原価	2,281,216	2,245,041
売上総利益	3,478,325	3,900,763
販売費及び一般管理費	3,483,791	3,768,692
営業利益又は営業損失(△)	△5,465	132,071
営業外収益		
受取利息	1,104	983
受取家賃	857	857
協賛金収入	2,271	3,607
為替差益	18,915	6,235
その他	1,168	1,458
営業外収益合計	24,317	13,143
営業外費用		
支払利息	29,040	26,552
社債利息	1,947	1,485
社債発行費償却	1,693	1,703
社債保証料	2,350	1,815
その他	2,921	4,619
営業外費用合計	37,952	36,177
経常利益又は経常損失(△)	△19,100	109,037
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△19,100	109,037
法人税、住民税及び事業税	34,135	81,665
法人税等調整額	1,496	△8,856
法人税等合計	35,631	72,808
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△54,732	36,228
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△54,732	36,228

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年9月1日 至平成26年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△54,732	36,228
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	487	145
為替換算調整勘定	42,595	8,869
その他の包括利益合計	43,082	9,014
四半期包括利益	△11,649	45,243
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△11,649	45,243

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。